

土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会 IRDR 活動推進小委員会
(第 25 期・第 1 回)

議事要旨

日 時 令和 3 年 9 月 7 日 (火) 20 : 00 ~ 20 : 40

会 場 遠隔会議 (Zoom)

参加者 (五十音順 ; 以下敬称略)

委員 : 池田 鉄哉、小浪 尊宏、田端 憲太郎、西口 尚宏、深澤 良信、山崎
律子 (10 名中 6 名出席)

オブザーバー : 林 春男 (IRDR 分科会委員長)、田村 圭子 (IRDR 分科会幹
事)、五十嵐 久留美 (事務担当 (防災科学技術研究所))、村上 威
夫

概 要

田村 IRDR 分科会 幹事が議事進行を務め、開会の辞に続き、議事に先立ち参加者からの自己紹介があった。

(1) 委員長の互選

林 IRDR 分科会 委員長より深澤委員を推薦する旨発言があり、委員の互選により、全会一致で深澤委員が委員長に選出された。

(2) 委員の辞任の承認

天野委員及び中尾委員は、異動に際し国際防災分野から離れるために辞任することとなり、全会一致で承認された。

(3) 新規の委員の追加について

中尾委員の後任として、内閣府参事官 (普及啓発・連携担当) に村上威夫氏が就任したことから、氏を新規の委員として追加する旨、全会一致で承認された。なお、村上氏より受託頂いたので、9月30日開催の幹事会の決定を経へて委員就任となる。

(4) 今後の活動について

林 IRDR 分科会 委員長より、小委員会は IRDR 分科会 と基本的には合同開催とし、そのため小委員会には委員長のみとする旨発言があった。合同会合は、今年度中に 2 回 (10 月頃及び 2 月頃)、来年度は 5 回程度、オンラインでの開催が中心となる予定。

第 25 期の活動は 2023 年 9 月末までであり、そのしめくくりとして同月に国際フォーラム「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンスの確保の在り方ー関東大震災 100 年を振り返って」開催予定。2022 年 6 月には学術フォーラム「国

難級災害を乗り越えるためのレジリエンスの確保の在り方」開催、同年12月に提言「21世紀前半に発生が確実視される国難級災害を乗り越えるためのレジリエンスの確保の在り方」を発出予定。逆算すると今年12月までには提言の骨子を固め、他の分科会と合同して行うことも視野に10月から調整開始。

(5) その他

西口委員より、議事概要の回覧はGoogle Docを活用した方が利便性が高い旨発言があった。山崎委員より、以前TF会合にて導入した際には相反する意見の調整の必要性等から従来型のファイル回覧となった旨説明があったが、当小委員会の概要は簡易であることからGoogle Docを活用して回覧することとした。

深澤委員より、人と防災未来センター長以来力を入れている災害の「語り継ぎ」の意義を2021年1月に世界災害語り継ぎフォーラムにて発表、さらに来年6月開催の国連防災のグローバル・プラットフォーム（GP2022）においても関係者と議論を深め、2023年11月にはフィリピンにて台風ヨランダ発生10周年を期して国際フォーラムを開催するよう検討したい旨発言があった。山崎委員より、GP2022の各セッションのオーガナイズチームの日本人メンバー間で意見交換をしており、コンセプトノートの期限が9月末であることから急ぎ打ち込むべき旨発言があり、別途両者で打ち合わせすることとなった。

以上